

勝手にEV

EGP611

勝手にEV 取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はエコライダーGT+シリーズのオプション商品です。



はじめに

本製品を正しく使用いただくために、この取扱説明書(以下、本書)をよくお読みください。
また本書は本製品を使用する際、すぐに取り出せる場所に保管してください。汎用の商品ですが、
取付けに際しては配線確認は慎重かつ確実に実施するようお願いいたします。誤った配線に取付け
ますと、ヒューズ破損、焼損などを引き起こすことがあります。本製品を他のお客様にお譲り
になる際は、本書もあわせてお譲りください。本製品は日本国内での使用を目的に設計されていま
すので、海外では使用しないでください。
※本書でいう「使用」とは、「取付け」や「取扱い」を指します。

安全上の注意

本製品を安全にご使用いただくため、
ご使用前に「安全上の注意」をよくお読みください。

警告

- **弊社指定の方法以外で使用しない**
本製品を本書記載以外の方法で使用した場合、事故を誘発したり、火災や感電、故障の原因
となることがあります。その際に生じた損害や損失に対する補償には一切応じられません。
- **必ずバッテリーのマイナス端子を外してから配線作業を行う**
バッテリーが接続されたままの状態で行うと、火災や感電、故障の原因とな
ることがあります。その際生じた損害や損失に対する補償には一切応じられません。
- **12V車以外には取付けしない**
本製品は12V車専用です。12V車以外の車両に使用すると、火災や故障の原因となりま
す。
- **分解や改造、修理を行わない**
お客様による分解や改造、修理はおやめください。事故を誘発したり、火災や破損の原因と
なる場合があります。

注意

- **水気のある場所、湿気が多い場所で使用しない**
作動不良を起こしたり、火災や故障の原因となる場合があります。
- **車両の高温部や可動部にハーネスを取回さない**
作動不良を起こしたり、火災や故障の原因となる場合があります。
- **異常が見られたら使用を中止する**
煙が出ている、異臭がするなどの異常が見られた場合はただちに使用を中止し、本書記載の
お問い合わせ先までご連絡ください。

仕様・動作環境

- **電源** : 直流(DC) 10V~16V バッテリー電圧が12Vの車両
- **周囲温度** : -20℃~70℃ 結露なきこと
直射日光が当たらないこと

セット内容

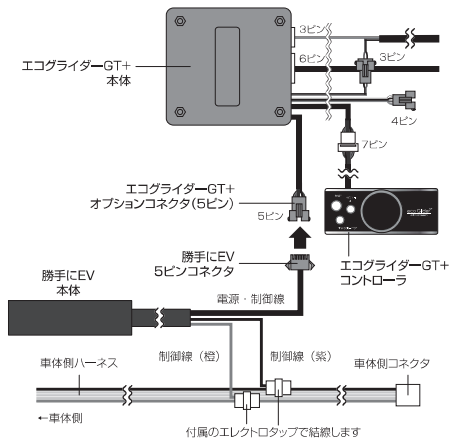
※セット内容が全て揃っているかご確認ください。

- **本体**
- **エレクトロタップ×2**
- **結束バンド**
- **取扱説明書(本書) / 車種別取付説明書**
- **取付説明書(保証書在中)**
- **車種別取付説明書**

必要な道具類

- **作業用ゴム手袋(静電防止のため)**
- **ニッパーやはさみなど**
- **ペンチ・プライヤーなど(エレクトロタップ圧着用)**
- **パネル外し工具(モールディンググリム-バー)**

配線接続図



- **車種により結線位置・結線方法は異なります。別紙「車種別取付説明書」を参照し、正しく結線してください。**

適合機種・車種

令和4年3月現在

機種名	車種名	車両型式	年式
EG-1511*	プリウス	ZVW30系	H21年5月~H27年12月
	プリウスα	ZVW40/41系	H23年5月~H26年4月
EG-1512*	アクア	NHP10系	H23年12月~H27年10月
	カローラフィールダーHV	NKE165G系	H25年8月~
EG-1513*	ノアHV ヴォクシーHV	ZWR80G系	H25年12月~H27年12月
	エスクァイアHV		H26年10月~H27年12月
EG-1611	プリウス	ZVW50系	H26年11月~
EG-1612	アクア	NHP10系	H27年11月~
	カローラフィールダーHV	NKE165G系	H25年8月~
EG-1613	ノアHV ヴォクシーHV エスクァイアHV	ZWR80G/80W系	H26年1月~H29年6月
EG-1711	プリウス プリウスα	ZVW30系 ZVW40/41系	H21年5月~H27年12月 H23年5月~
EG-1713	ノアHV ヴォクシーHV エスクァイアHV	ZWR80G/80W系	H29年7月~
EG-1714	シエンタHV	NHP170G系	H27年7月~
EG-1715	C-HR HV	ZYX10系	H28年12月~
EG-1716	アルファードHV ヴェルファイアHV	AYH30W系	H27年1月~
EQ-1901	カムリ	AXVH7#系	H29年6月~
EQ-1902	カローラスポーツHV	ZWE21H系	H30年6月~
EQ-1903	プリウスPHV	ZW52系	H29年2月~
EQ-1905	NX300h	AYZ1#系	H26年7月~
EQ-1907	RAV4HV	AXAH2/54系	H31年4月~
EQ-1911	カローラツーリングHV	ZWE14W系	H31年8月~
EQ-1913	カローラクロスHV	ZVG1#系	R3年9月~

※本体を勝手にEVに对应したバージョンへのアップデートが必要です。

※車両型式は車検証(自動車検査証)の「型式」をご確認ください。

※年式は車検証(自動車検査証)の「初度登録年月」をご確認ください。

本書に掲載されていない機種・車種につきましては、

- **エコライダーGT+付属の取扱説明書**
- **オフィシャルサイト**

<https://fineroad-jpn.com/e-concept/>

にてご確認ください。

【保証規定】

2020年3月1日改訂

- 1.保証期間内に、正常な使用状態において、製造上または部品、材質の欠陥が原因で異常が発生した場合は、弊社の責任において保証します。
- 2.保証期間内に異常が発生し、検査が必要となった場合、本保証書をご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 3.検査ご依頼時の取付作業費、それらに伴う交通費及び送料などの経費は、お客様のご負担となります。また、検査や保証修理などの理由で自動車を使用できない期間の不便を補うために生じた費用や高機能喪失などの費用は増徴致しません。
- 4.下記の事項については保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - ①本保証書の指示がない場合。
 - ②本保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合。
 - ③本保証書に記入のお客様と異なる場合。
 - ④取付作業、取扱説明書に記載された内容とは異なる方法で、取付け、取扱いをした場合、または、他の製品と併用してご使用の場合、及び本製品を改造して取付けた場合の故障及び損傷。
 - ⑤ご使用中に生じたオスや差込などの外観上の変化。
 - ⑥お買い上げ後の輸送や移動時の落下・衝撃などのお取扱いが不適当なため生じた故障及び損傷。
 - ⑦火災・地震・水害等・盗難その他の不可抗力及び公害・盗難・交通事故などによる故障及び損傷。
 - ⑧故障及び損傷原因が本製品以外の他社製品にある場合。
 - ⑨消耗品及び付属品。
 - ⑩弊社の製品保証規定の改定による場合。
 - ⑪上記以外で弊社の責に帰する事ができない原因により生じた故障及び損傷。
- 5.本製品に対する保証は、前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する他へへの影響(エンジントラブルその他の事故一併や、本製品取付け箇所が使用できなかった事による損失など)につきましては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 6.本保証書は、日本国内において使用する場合は有効です。
This warranty is valid only in Japan.

【ご注意】

- ①本製品は、将来、改良などにより予告なく商品仕様など変更する場合があります。
- ②本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ③本保証書は、いかなる場合においても再発行いたしませんので、紛失をさらない様、大切に保管してください。
- ④本保証書の廃止などにより、無償・有償に関わらず、保守サービスを終了する場合がございます。

【販売店様へ】

お客様へ商品をお渡す際には、必ず販売日を記入し、真店名・ご注文・真店印をご記入ください。万一記入漏れがあると保証期間内でも有償となります。

保証書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品は、厳密な検査に合格してお届けしているものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、この保証書に記載された内容により、修理、交換致します。※の欄はお客様がご記入ください。(ご記入漏れが保証になりますと、保証対象となりません。)

品番/品名	EGP611 勝手にEV		
お客様記入欄	お名前	※	
	電話番号	※ () -	
	ご住所	※ 〒 -	
保証期間	●お買上げ日より1年間 ●ネット販売の場合は商品発送日から1年間		
ご購入日	年 月 日		
販売店記入欄			

製造元 ライフベース
 〒192-0071 東京都八王子市八日町8-1
販売代理店 株式会社FineRoad(フアイロード)
 〒491-0811 愛知県一宮市千秋町船越馬場字大山32番
 TEL:0588-52-6536 FAX:0588-52-6596
 mail:shop@fineroad-jpn.com

オフィシャルサイト <https://fineroad-jpn.com/e-concept/>

勝手にEV

EGP611

勝手にEV 車種別取付説明書

本書を使用する際は、勝手にEV(EGP611)取扱説明書と合わせてお読みください。

注意

※コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出ている方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。

エレクトロタップの使用方法

- 1** 電線止めのガイドがある方に、「勝手にEV」本体の配線に乗せます。
- 2** 配線が中心からずれないように、気を付けたらドライバーで圧着します。
- 3** 車体側の配線を残りのガイドに乗せます。
- 4** 同様に、配線が中心からずれないように、気を付けたらドライバーで圧着します。

車種別取付け方法

◆プリウス(ZVW50系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。ご注意ください。

プリウス(ZVW50系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- パワーモードラストメモリー機能
ドライブモードがパワーモードの状態でもエンジン停止後、再始動時にパワーモードの状態を保持(記憶)しています。

1.シフトパネルを外す

パネル外し工具を使い、シフトパネルを手前ですらしてください。

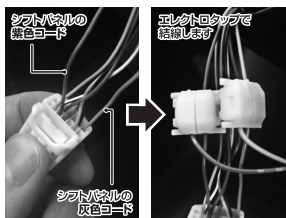
※パネルは構造上、完全に外す事はできませんので、写真のように向きを揃え、向きを揃えておく必要があります。



2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」本体の制御線(橙)をパターンセレクトスイッチの14(灰色)のコードへ、制御線(紫)を3(紫色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出ている方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



3.エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.シフトパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

シフトパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。続いて次項の「作動確認」を行います。

※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

◆プリウス(ZVW30系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。ご注意ください。

プリウス(ZVW30系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- パワーモードラストメモリー機能
ドライブモードがパワーモードの状態でもエンジン停止後、再始動時にパワーモードの状態を保持(記憶)しています。

1.シフトパネルを外す

パネル外し工具を使い、シフトパネルを外してください。

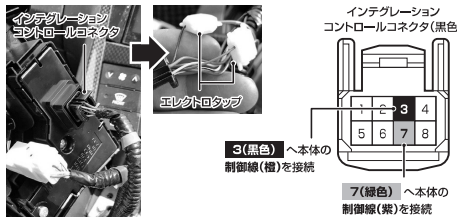
※破損しないように気を付けてください。



2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」本体の制御線(橙)をインテグレーションコントロールコネクタの3(黒色)のコードへ、制御線(紫)を7(緑色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出ている方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



3.エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.シフトパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

シフトパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。続いて次項の「作動確認」を行います。

※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

◆プリウスα(ZVW40系/41系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。ご注意ください。

プリウス(ZVW40系/41系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- パワーモードラストメモリー機能
ドライブモードがパワーモードの状態でもエンジン停止後、再始動時にパワーモードの状態を保持(記憶)しています。

1.センターコンソールパネルを外す

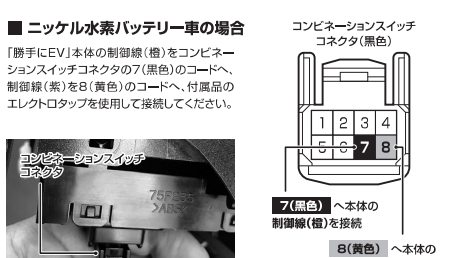
パネル外し工具を使い、センターコンソールパネルを手前ですらしてください。

※破損しないように気を付けてください。



2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出ている方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



3.リチウムイオンバッテリー車の場合

「勝手にEV」本体の制御線(橙)をコンビネーションスイッチコネクタの7(黒色)のコードへ、制御線(紫)を8(黄色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。



3.エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.センターコンソールパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

センターコンソールパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。続いて次項の「作動確認」を行います。

※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

◆アクア(NHP10系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。ご注意ください。

アクア(NHP10系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- ※パワーモードが搭載されていないため、パワーモードラストメモリー機能はございません。
- ※制御線(橙)のみ使用します。(制御線(紫)は使用しません)

1.センターコンソールパネルを外す

パネル外し工具を使い、センターコンソールパネルを外してください。

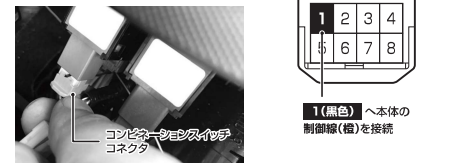
※破損しないように気を付けてください。



2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

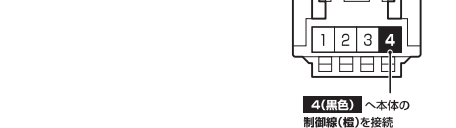
注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出ている方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。

■平成27年11月以降の車両年式の場合
「勝手にEV」本体の制御線(橙)をコンビネーションスイッチコネクタの1(黒色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。



■平成23年12月～平成27年10月の車両年式の場合

「勝手にEV」本体の制御線(橙)をパターンセレクトスイッチコネクタの4(黒色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。



3.エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.センターコンソールパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

センターコンソールパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。続いて次項の「作動確認」を行います。

※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

◆カローラ フィルダーHV(NKE165G系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。ご注意ください。

カローラ フィルダーHV(NKE165G系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- ※パワーモードが搭載されていないため、パワーモードラストメモリー機能はございません。
- ※制御線(橙)のみ使用します。(制御線(紫)は使用しません)

1.センターコンソールパネルを外す

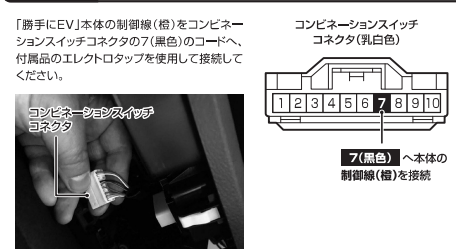
パネル外し工具を使い、センターコンソールパネルを外してください。

※破損しないように気を付けてください。



2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出ている方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



3.エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.センターコンソールパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

センターコンソールパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。続いて次項の「作動確認」を行います。

※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

◆ヴォクシーHV、ノアHV、エスクァイアHV(ZWR80G/ZWR80W系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因になることがあります。ご注意ください。

ヴォクシーHV、ノアHV、エスクァイアHV(ZWR80G/ZWR80W系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- パワーモードラストメモリー機能
ドライブモードがパワーモードの状態でもエンジン停止後、再始動時にパワーモードの状態を保持(記憶)しています。

1.センターパネルを取外す

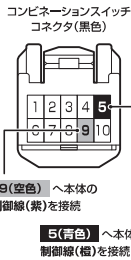
パネル外し工具を使い、センターパネルを外してください。
※破損しないように取付けてください。



2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出していない方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。

「勝手にEV」本体の制御線(緑)をコンビネーションスイッチコネクタの5(青色)のコードへ、制御線(紫)を9(空色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。



3.エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.センターパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

センターパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。
続いて次項の「作動確認」を行います。
※取付け時、コードを挟み込まないようご注意ください。

◆C-HR HV(ZYX10系)の場合

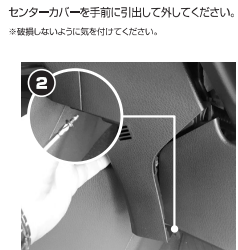
注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因になることがあります。ご注意ください。

C-HR HV(ZYX10系)では、以下の機能が使用できます。

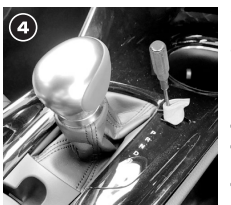
- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- 勝手にホールド機能
運転席のドアを開け、エンジン始動後のシートベルト着用で、純正のブレーキホールドシステムがONになります。渋滞等でクリップを使って進みたい場合は、ブレーキペダルをしっかりと踏んだ状態でブレーキホールドスイッチを押すことができます。再度、ブレーキホールドシステムをONにしたい場合はブレーキホールドスイッチを押してください。
※エコライダーGT+の「オートブレーキホールドのON/OFF設定」がONになっていないと勝手にホールド機能は動作しません。「オートブレーキホールドのON/OFF設定」についてはエコライダーGT+の取扱説明書を参照してください。
※運転席のドアが開いていた、シートベルトを着用していない場合は勝手にホールド機能は動作しません。(純正のブレーキホールドシステムがONになりません。)
※勝手にホールド機能は運転席のドアを開けたり、シートベルトを外すと解除されます。運転席のドアが閉まっている状態で、シートベルトを再着用すれば勝手にホールド機能は再度ONになります。
※勝手にホールド機能がうまく動作しない場合は、運転席ドアの閉め直し、シートベルトの再着用もしくはエンジンの再始動を行ってください。
※パワーモードが搭載されていないため、パワーモードラストメモリー機能はございません。

1.センターコンソールパネルを取外す

センターカバーを手前に引出して外してください。
※破損しないように取付けてください。



カバー下部のネジを取り、カバーを外してください。
小物入れを外してください。



シフトロックを解除し、シフトポジションを「N」にしてください。
●シフトロックの解除方法
※シフトロックを解除する前にパーキングブレーキがかかっていること、POWERスイッチがOFFになっていることを確認してください。
①ブレーキペダルを踏んでください。
②マイナスイライバーの先端に布等を巻き、シフトロック解除ボタンのカバーを外してください。
③シフトロック解除ボタンを押しながらシフトレバーを操作してください。

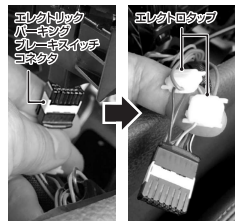
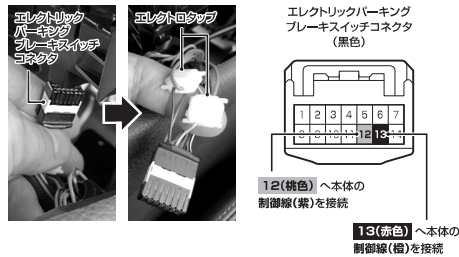


パネル外し工具を使い、センターコンソールパネルを外してください。
※破損しないように取付けてください。

2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」本体の制御線(緑)をエレクトリックパーキングブレーキスイッチコネクタの13(赤色)のコードへ、制御線(紫)を12(桃色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出していない方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



3.エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.センターコンソールパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

センターコンソールパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。
続いて次項の「作動確認」を行います。
※取付け時、コードを挟み込まないようご注意ください。

◆アルファードHV、ヴェルファイアHV(AYH30W系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因になることがあります。ご注意ください。

アルファードHV、ヴェルファイアHV(AYH30W系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- 勝手にホールド機能
運転席のドアを開け、エンジン始動後のシートベルト着用で、純正のブレーキホールドシステムがONになります。渋滞等でクリップを使って進みたい場合は、ブレーキペダルをしっかりと踏んだ状態でブレーキホールドスイッチを押すことができます。再度、ブレーキホールドシステムをONにしたい場合はブレーキホールドスイッチを押してください。
※エコライダーGT+の「オートブレーキホールドのON/OFF設定」がONになっていないと勝手にホールド機能は動作しません。「オートブレーキホールドのON/OFF設定」についてはエコライダーGT+の取扱説明書を参照してください。
※運転席のドアが開いていた、シートベルトを着用していない場合は勝手にホールド機能は動作しません。(純正のブレーキホールドシステムがONになりません。)
※勝手にホールド機能は運転席のドアを開けたり、シートベルトを外すと解除されます。運転席のドアが閉まっている状態で、シートベルトを再着用すれば勝手にホールド機能は再度ONになります。
※勝手にホールド機能がうまく動作しない場合は、運転席ドアの閉め直し、シートベルトの再着用もしくはエンジンの再始動を行ってください。
※パワーモードが搭載されていないため、パワーモードラストメモリー機能はございません。

1.センターコンソールパネルを取外す

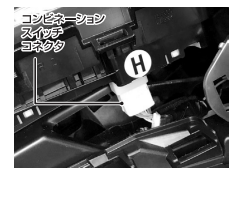
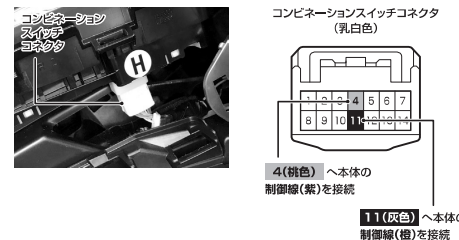
シフトパネル下部の細長いトイを外し、コンビネーションスイッチを固定しているネジを外してください。
※破損しないように取付けてください。



2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」の制御線(緑)をコンビネーションスイッチコネクタの11(灰色)のコードへ、制御線(紫)を4(桃色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出していない方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



3.エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.センターコンソールパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

センターコンソールパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。
続いて次項の「作動確認」を行います。
※取付け時、コードを挟み込まないようご注意ください。

◆シエンタHV(NHP170G系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因になることがあります。ご注意ください。

シエンタHV(NHP170G系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
※パワーモードが搭載されていないため、パワーモードラストメモリー機能はございません。
※制御線(緑)のみ使用します。(制御線(紫)は使用しません)

1.メータ前のパネルとカバーを取外す

メータ前のパネルを手前に引出して外してください。
※破損しないように取付けてください。



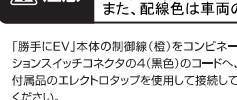
メータ前のカバーを下から押して外してください。
※左右のフックが破損しないように取付けてください。



2.エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」本体の制御線(緑)をコンビネーションスイッチコネクタの4(黒色)のコードへ、制御線(紫)を9(空色)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出していない方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



3.エコライダーGT+本体と接続する

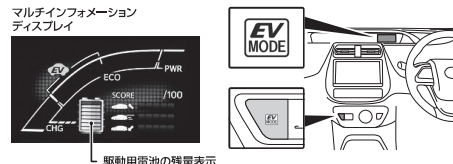
「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

4.メータ前のパネルとカバーを取付け、次項の「作動確認」を行う

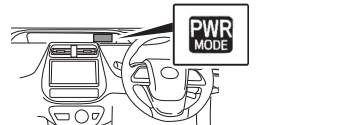
カバーとパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。
続いて次項の「作動確認」を行います。
※取付け時、コードを挟み込まないようご注意ください。

作動確認

- ①車両のEVボタンを押して Ready インジケータ点灯の状態にします。
- ②マルチインフォメーションディスプレイを見て、駆動用電池の残量表示の目盛りが5目盛り以上充電されている場合、本製品の機能によりEV表示が点灯します。
※走行/バッテリーが充電されているも、水温が低いなど車両側の制御により、EV表示とされない場合があります。



- ③以降はエコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合にEVボタンを押したときと同様の動きをします。
※EVモードは速度とアクセル開度の変動により解除されます。また、水温が低い場合はEV走行できる速度域も低くなります。
※EVモードは走行モードによって使えるレンジが異なります。ECOモード時は一番EVモードを使えるレンジが広くなります。
※EVモードではブレーキ時、走行中のアクセルOFF時以外は充電が行われません。また、EV走行により無音となるため、歩行者などに気づかれにくい場合がありますのでご注意ください。
※EVモードでは機械運転ができませんので、アドリンクなどでヒーターを使いたい時は、エコライダーGT+のコントロール表示を"nor"にしてご使用ください。
- ④パワーモードラストメモリー機能の確認(対象車種のみ)
ドライブモードを(パワーモード)に切り替えてからEVボタンを押してエンジンを切ってください。再度EVボタンにて Ready インジケータ点灯の状態にした時に、パワーモードの状態になっている事を確認してください。



- ⑤勝手にホールド機能の確認(対象車種のみ)※運転席のドアが開いている状態で行います
シートベルトを着用し、ブレーキホールドスタンバイ表示灯 HOLD が点灯する事を確認
シートベルトを外し、ブレーキホールドスタンバイ表示灯 HOLD が消灯する事を確認

勝手にEV

EGP611

勝手にEV 車種別取付説明書

本書を使用する際は、勝手にEV(EGP611)取扱説明書と合わせてお読みください。

注意

※コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出していない方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。

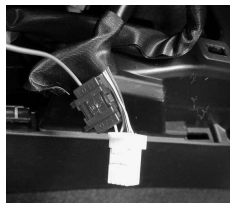


センターコンソール後側(ドリンクホルダー部分)を取り外します。

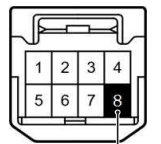
2. エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」本体の制御線(橙)をEVボタン、DRIVE MODE切替ボタンの下にあるコンビネーションスイッチコネクタの8(空色)のコードへ付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出していない方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。

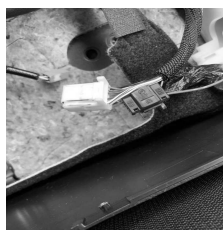


コンビネーションスイッチコネクタ(乳白色)

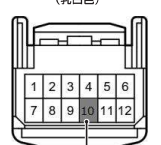


8(空色)へ本体の制御線(橙)を接続

「勝手にEV」本体の制御線(紫)をパーキングスイッチ、ブレーキホールドボタンの下にあるエレクトリックパーキングブレーキスイッチコネクタの10(青色)のコードへ付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。



エレクトリックパーキングブレーキスイッチコネクタ(乳白色)



10(青)へ本体の制御線(紫)を接続

3. エコグライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコグライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体パネル内に収納してください。

4. センターコンソールパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

センターコンソールパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。続いて次項の「作動確認」を行います。

※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

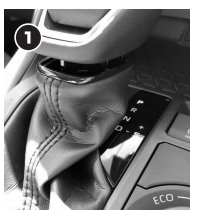
◆ RAV4 HV(AXAHS2 / 54系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
シートによる火災や故障の原因となることがあります。ご注意ください。

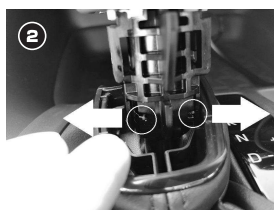
RAV4 HV(AXAHS2/54系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコグライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- 勝手にホールド機能
運転席のドアを閉め、エンジン始動後のシートベルト着用で、純正のブレーキホールドシステムがONになります。渋滞等でクリープを使って進みたい場合は、ブレーキペダルをしっかりと踏んだ状態でブレーキホールドスイッチを押すことができます。再度、ブレーキホールドシステムをONにしたい場合はブレーキホールドスイッチを押してください。
- ※エコグライダーGT+の「オートブレーキホールドのON/OFF設定」がONになっていないと勝手にホールド機能は動作しません。「オートブレーキホールドのON/OFF設定」についてはエコグライダーGT+の取扱説明書を参照してください。
- ※運転席のドアが開いている、シートベルトを着用していない場合は勝手にホールド機能は動作しません。(純正のブレーキホールドシステムがONになりません。)
- ※勝手にホールド機能は運転席のドアを開けたり、シートベルトを外すと解除されます。運転席のドアが開まっている状態で、シートベルトを再着用すれば勝手にホールド機能は再度ONになります。
- ※勝手にホールド機能がうまく動作しない場合は、運転席ドアの閉め直し、シートベルトの再着用もしくはエンジンの再始動を行ってください。

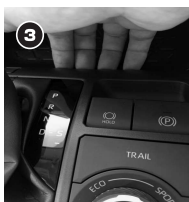
1. シフトパネルを取外す



シフトブーツを下に下げます。



○印のピンを左右に引っ張りながら、上に持ち上げるとシフトパネルが外れます。



パネルの前面に指を入れて持ち上げます。前面が持ち上がったついでに気をつけて全体を持ち上げます。

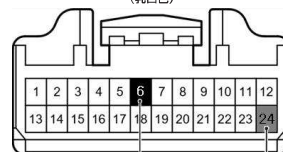
2. エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」本体の制御線(橙)をEVボタン、DRIVE MODE切替ボタンの下にあるインテグレーションコントロールパネルコネクタの6(薄紫/緑)のコードへ、制御線(紫)を24(赤)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出していない方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



インテグレーションコントロールパネルコネクタ(乳白色)



6(薄紫/緑)へ本体の制御線(橙)を接続
24(赤)へ本体の制御線(紫)を接続

3. エコグライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコグライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体パネル内に収納してください。

4. シフトパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

シフトパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。続いて次項の「作動確認」を行います。

※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

◆ プリウスPHV(ZVW52系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
シートによる火災や故障の原因となることがあります。ご注意ください。

プリウス(ZVW52系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にHV機能
高速走行での電池消費を抑えるため、速度が約80km/hを超えるとHVモードへ自動で切り替わります。
- パワーモードラストメモリー機能
ドライブモードがパワーモードの状態でもエンジン停止後、再始動時にパワーモードの状態を保持(記憶)しています。

1. シフトパネルを取外す

パネル外し工具を使い、シフトパネルを手前にずらしてください。

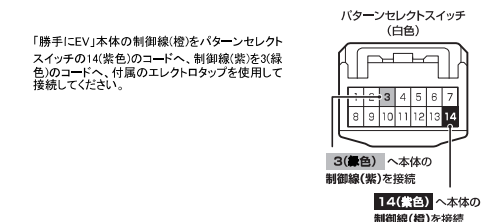
※パネルは構造上、完全に外す事はできませんので、専用のように作業のしやすさ、すべり止めをできるようにしてください。



パネル外し工具

2. エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出していない方)から見た場合の番号になっていますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。



パターンセレクトスイッチ(白色)



3(薄紫)へ本体の制御線(紫)を接続
14(黄色)へ本体の制御線(橙)を接続

※上記14ピンにコードが来ていない場合



パターンセレクトスイッチ(白色)



10(青色)へ本体の制御線(紫)を接続
3(薄紫)へ本体の制御線(橙)を接続

3. エコグライダーGT+本体と接続する

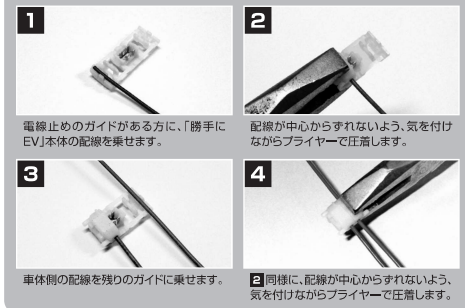
「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコグライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体パネル内に収納してください。

4. シフトパネルを取付け、次項の「作動確認」を行う

シフトパネルを元通り取付けて取付作業は完了です。続いて次項の「作動確認」を行います。

※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

エレクトロタップの使用方法



車種別取付け方法

◆ カローラスポーツHV(ZWE211H系)、カローラツーリングHV(ZWE21#W系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
シートによる火災や故障の原因となることがあります。ご注意ください。

カローラスポーツHV(ZWE211H系)、カローラツーリングHV(ZWE21#W系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
エコグライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- 勝手にホールド機能
運転席のドアを開け、エンジン始動後のシートベルト着用で、純正のブレーキホールドシステムがONになります。渋滞等でクリープを使って進みたい場合は、ブレーキペダルをしっかりと踏んだ状態でブレーキホールドスイッチを押すことができます。再度、ブレーキホールドシステムをONにしたい場合はブレーキホールドスイッチを押してください。
- ※エコグライダーGT+の「オートブレーキホールドのON/OFF設定」がONになっていないと勝手にホールド機能は動作しません。「オートブレーキホールドのON/OFF設定」についてはエコグライダーGT+の取扱説明書を参照してください。
- ※運転席のドアが開いている、シートベルトを着用していない場合は勝手にホールド機能は動作しません。(純正のブレーキホールドシステムがONになりません。)
- ※勝手にホールド機能は運転席のドアを開けたり、シートベルトを外すと解除されます。運転席のドアが開まっている状態で、シートベルトを再着用すれば勝手にホールド機能は再度ONになります。
- ※勝手にホールド機能がうまく動作しない場合は、運転席ドアの閉め直し、シートベルトの再着用もしくはエンジンの再始動を行ってください。

1. センターコンソールパネルを取外す



運転席下のアンダーパネルを取り外します。(ネジ2本)



センターコンソール前のパネルを取り外します。※右下半部分が運転席下アンダーパネルのネジで一緒に固定されているので、必ず運転席下アンダーパネルから取り外してください。



小物入れを取り外します。



センターコンソール前側(シフト部分)を取り外します。

◆ カムリ(AXVH7#系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
 ショートによる火災や故障の原因となることがあります。ご注意ください。

カムリ(AXVH7#系)では、以下の機能が使用できます。

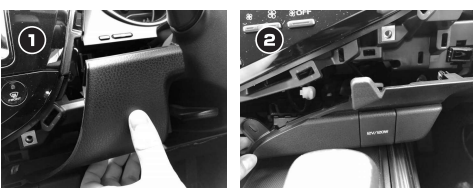
- 勝手にEV機能
 エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- 勝手にホールド機能
 運転席のドアを開け、エンジン始動後のシートベルト着用で、純正のブレーキホールドシステムがONになります。渋滞等でクリーブを使って進みたい場合は、ブレーキペダルをしっかりと踏んだ状態でブレーキホールドスイッチを押すと解除することができます。再度、ブレーキホールドシステムをONにしたい場合はブレーキホールドスイッチを押してください。
- ※エコライダーGT+の「オートブレーキホールドのON/OFF設定」がONになっていないと勝手にホールド機能は動作しません。「オートブレーキホールドのON/OFF設定」についてはエコライダーGT+の取扱説明書を参照してください。
- ※運転席のドアが開いていたり、シートベルトを着用していない場合は勝手にホールド機能は動作しません。(純正のブレーキホールドシステムと解除することができません。)
- ※勝手にホールド機能は運転席のドアを開けたり、シートベルトを外すと解除されます。運転席のドアが開まっている状態で、シートベルトを再着用すれば勝手にホールド機能は再度ONになります。
- ※勝手にホールド機能がうまく動作しない場合は、運転席ドアの閉め直し、シートベルトの再着用もしくはエンジンの再始動を行ってください。

1. ナビ下～助手席前のパネルを取外す



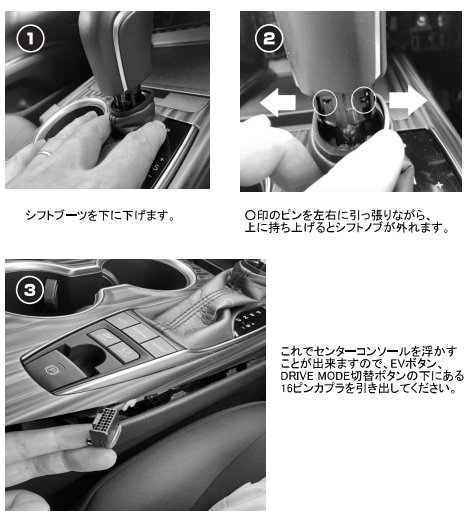
ナビ下～助手席前までつながっているV字のパネルを取外します。実際には2種類のパネルがつながっていますが、同時に取ります。クリップで止まっているだけなので、パネル外し等を差し込みながら手前に引っ張ると外れます。裏にカプラが1つ刺さっているので、それも外します。

2. ステアリング左、センターコンソール前パネルを取外す



ステアリングの左にあるパネルを取外します。
 センターコンソールの前にあるパネルを取外します。裏にカプラと配線止めがありますので、それも取外します。

3. センターコンソールパネルを取外す



シフトブーツを下に下げます。
 O印のピンを左右に引っ張りながら、上に持ち上げるとシフトプロが外れます。

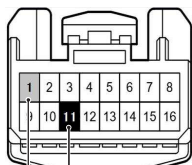
これでセンターコンソールを浮かすことができますので、EVボタン、DRIVE MODE切替ボタンの下にある18ピンカプラを引き出してください。

4. エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」本体の制御線(橙をEVボタン、DRIVE MODE切替ボタンの下にあるエレクトリックパーキングブレーキスイッチコネクタの11(緑色)のコードへ、制御線(紫を1(ベージュ)のコードへ、付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出ていない方)から見た場合の番号になりますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。

エレクトリックパーキング
 ブレーキスイッチコネクタ (黒色)



1(ベージュ)へ本体の制御線(紫)を接続
 11(緑色)へ本体の制御線(橙)を接続

5. エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

6. センターコンソール他のパネルを元に戻し、次項の「作動確認」を行う

各パネルを元通り取付けて取付作業は完了です。
 続いて次項の「作動確認」を行います。
 ※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

◆ カローラクロス(ZVG1#系)の場合

注意 ●イグニッションスイッチは必ずOFFにする
 ショートによる火災や故障の原因となることがあります。ご注意ください。

カローラクロス(ZVG1#系)では、以下の機能が使用できます。

- 勝手にEV機能
 エコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合に、自動的にEVモードに切り替わります。
- 勝手にホールド機能
 運転席のドアを開け、エンジン始動後のシートベルト着用で、純正のブレーキホールドシステムがONになります。渋滞等でクリーブを使って進みたい場合は、ブレーキペダルをしっかりと踏んだ状態でブレーキホールドスイッチを押すと解除することができます。再度、ブレーキホールドシステムをONにしたい場合はブレーキホールドスイッチを押してください。
- ※エコライダーGT+の「オートブレーキホールドのON/OFF設定」がONになっていないと勝手にホールド機能は動作しません。「オートブレーキホールドのON/OFF設定」についてはエコライダーGT+の取扱説明書を参照してください。
- ※運転席のドアが開いていたり、シートベルトを着用していない場合は勝手にホールド機能は動作しません。(純正のブレーキホールドシステムがONになりません。)
- ※勝手にホールド機能は運転席のドアを開けたり、シートベルトを外すと解除されます。運転席のドアが開まっている状態で、シートベルトを再着用すれば勝手にホールド機能は再度ONになります。
- ※勝手にホールド機能がうまく動作しない場合は、運転席ドアの閉め直し、シートベルトの再着用もしくはエンジンの再始動を行ってください。

1. ナビ下小物入れの側面パネル&ゴムシートを取外す



ナビ下小物入れの側面パネルを取外します。クリップで止まっているだけなので、全面に引っ張り出すことで外れます。左右ともに取り外してください。

側面パネルを左右取外したらゴムシートをめくって取外します。

2. センターコンソールパネルを取外す



シフトレバーの周りにあるパーツを取外します。

シフトブーツを下げ、O印のピンを左右に引っ張りながら上に持ち上げるとシフトプロが外れます。

センターコンソール前側(シフト側)パネルを持ち上げ、EV、DRIVE MODE切替ボタンの下にある9ピンカプラを引き出します。

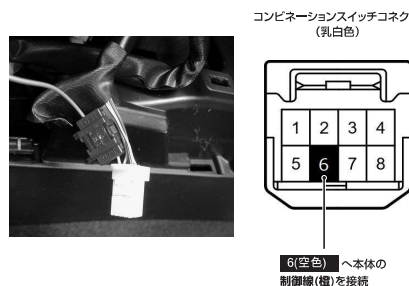
センターコンソール後側(ドリンクホルダー側)パネルを持ち上げます。

ブレーキホールドボタンの下にある10ピンカプラを引き出します。

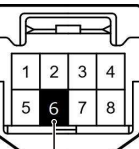
3. エレクトロタップで車体側純正ハーネスと結線する

「勝手にEV」本体の制御線(橙をEVボタン、DRIVE MODE切替ボタンの下にあるコンビネーションスイッチコネクタの6(灰色)のコードへ付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。

注意 コネクタの番号はコネクタの前面(電線の出ていない方)から見た場合の番号になりますのでご注意ください。また、配線色は車両の年式により異なる場合があります。

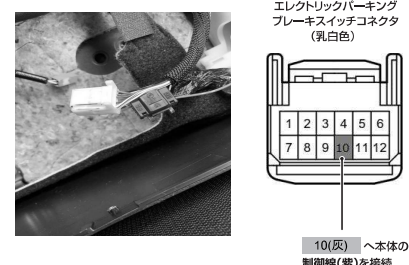


コンビネーションスイッチコネクタ (乳白色)

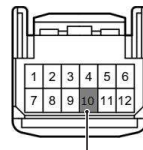


6(灰色)へ本体の制御線(橙)を接続

「勝手にEV」本体の制御線(紫)をパーキングスイッチ、ブレーキホールドボタンの下にあるエレクトリックパーキングブレーキスイッチコネクタの10(灰色)のコードへ付属品のエレクトロタップを使用して接続してください。



エレクトリックパーキング
 ブレーキスイッチコネクタ (乳白色)



10(灰)へ本体の制御線(紫)を接続

4. エコライダーGT+本体と接続する

「勝手にEV」の5ピンコネクタを、エコライダーGT+本体のオプションコネクタ(5ピン)へ接続後、付属の結束バンドを使用して本体をパネル内に収納してください。

5. センターコンソール他のパネルを元に戻し、次項の「作動確認」を行う

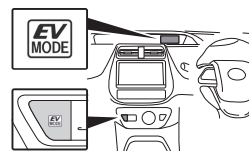
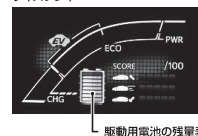
各パネルを元通り取付けて取付作業は完了です。
 続いて次項の「作動確認」を行います。
 ※取付け時、コードを挟み込まないようにご注意ください。

作動確認

※本製品を取付け後、以下の作動確認を行ってください。
 ※詳細内容はイラストはプラス(ZVW50系)のものですが、

- ①車両のEVボタンを押して Ready インジケータ点灯の状態にします。
- ②マルチインフォメーションディスプレイを見て、駆動用電池の残量表示の目盛りが5目盛り以上充電されている場合、本製品の機能によりEV表示が点灯します。
 ※走行用バッテリーが充電されていても、水温が低いなど車両側の制御により、EV表示とならない場合があります。

マルチインフォメーション ディスプレイ



- ③以降はエコライダーGT+の制御により、EVモードに移行できると判断された場合にEVボタンを押したときと同様の働きをします。
 ※EVモードは速度とアクセル開度の変動により解除されます。また、水温が低い場合はEV走行できる速度域も低くなります。
 ※EVモードは走行モードによって使えるレンジが異なります。ECOモード時は一番EVモードを便するレンジが広がります。
 ※EVモードではブレーキ時、走行中のアクセルOFF時以外は充電が行われません。また、EV走行により無音となるため、歩行者などに気づかれにくい場合がありますのでご注意ください。
 ※EVモードでは総機運転ができませんので、アイドリングなどでヒーターを使いたい時は、エコライダーGT+のコントローラ表示を「nor」にしてご使用ください。
- ④Pワームモード(ラストメモリー機能)の確認(対象車種のみ)
 ・ドライブモードをPワームモードに切り替えてからEVボタンを押してエンジンを切ってください。
 ・再度EVボタンにて Ready インジケータ点灯の状態にした時に、Pワームモードの状態になっている事を確認してください。



- ⑤勝手にホールド機能の確認(対象車種のみ) ※運転席のドアが開まっている状態で行います
 ・シートベルトを着用し、ブレーキホールドスタンバイ表示灯(HOLD)が点灯する事を確認
 ・シートベルトを外し、ブレーキホールドスタンバイ表示灯(HOLD)が点灯する事を確認